



▲雄大な雰囲気のでていることと、構図が面白いとの評価を受けました。

**県代表として
全国広報コンクールへ**

より良い広報紙を作成するために、読みやすい文章の作成や、わかりやすいデザイン、目を引く写真を撮影する技術などが必要です。

そういった広報技術を競い合う「広報コンクール」が地方自治体を対象に開催されており、市でも技術向上を目的に出品をしました。結果、平成24年6月1日号の表紙写真が高く評価され、秋田県代表作品として、平成25年度全国広報コンクールに推薦されました。

今後より一層の広報技術向上に努めてまいります。

**あなたの声を反映
広報モニター制度**

「広報にかほ」は市民と行政の架け橋というキャッチコピーを掲げており、市民の目線に立った広報紙作りを心がけています。

愛され、親しまれる広報を作るためには、市民皆さんの声を、広報活動や紙面に反映させることが大切であると考えています。

このことから市では、一般から広報モニターを募集し、モニターの意見や感想を紙面に反映させています。また、モニターでなくても意見や感想を募集していただきますので、お気軽に皆さんの声を聞かせてください。

「広報にかほ」は、発行部数1万1千部、月2回市民に全戸配布される情報紙です。1部あたり38円の印刷費用がかかっており、この経費負担の軽減を主な目的に、平成20年度から有料広告の広告主を募集し紙面に広告を掲載をしています。

広告掲載に係る費用は1枠（横90mm×縦50mm）1万円となっており、市内外の企業や店舗などからご利用を頂いています。

前年度まで広告の申し込みが369件、金額にして478万円の効果を上げることができました。

また、広告については品位や中立性のあるものに限られますが、掲載を検討されている方がおりましたらお気軽にご相談ください。



**「広報にかほ」
発行までの流れ**

- ①企画編集会議
発行日の約3週間前に行い、紙面のテーマや目的、内容を考え、役割分担を決め準備をします。
- ②取材・原稿作り
取材をおろそかにすると良い原稿ができないことから、テーマを明確にした上で、広聴や撮影をするように心がけています。
原稿は、正確で読みやすさなどを優先して作成しています。
- ③紙面レイアウト
イラストレーターというパソコンソフトを使用し、紙面のデザインをします。
- ④原稿の校正
字の誤りや、デザインのバランスを整えます。
- ⑤出稿・印刷
発行日の4日前、作成した広報原稿のデータを印刷所に提出し印刷が開始されます。
- ⑥発行
発行日、出来上がった広報が市役所の各庁舎に納品されます。そこから各自治会に届けられ、各家庭には、自治会より配布して頂いています。また、出来上がった紙面には必ず目を通し、反省を行うようにしています。

**広報紙に
有料広告を掲載**

**SNSの活用
新しい取り組み**

にかほ市では、行政情報やイベント情報、または必要に応じて災害時における情報提供に活用するため、にかほ市フェイスブック公式アカウントおよびツイッター公式アカウントを取得しました。

以下に記載のQRコードまたは、URLからアクセスできます。ぜひご利用ください。

★ソーシャル・ネットワークキング・サービスとは？
(以下、SNS)

SNSとは、人と人とのつながりを促進・サポートするウェブサイトです。

代表的なのがフェイスブックとツイッターと呼ばれるSNSで、これらを利用する事でより速く、広く情報を伝えることができます。また、費用もかからないことから全国の地方自治体などで導入が急速に進んでいます。

にかほ市役所ツイッター
公式アカウントURL
<http://www.twitter.com/NikahoCity>

にかほ市役所フェイスブック
公式アカウントURL
<http://www.facebook.com/NikahoCityOffice>

▲twitterページ

▲Facebookページ

いいね！をお願いします！



市民と行政の架け橋

市民の皆さんと共に歩んで200号
これからも「アイ」される広報を目指します。

毎月2回、市が発行する「広報にかほ」は、平成17年10月の創刊号から数えて、今回で200号を迎えました。これからも皆さんの一番身近な情報紙として、市政や暮らしの情報を分かりやすく伝えていきます。

